



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 藤倉コンポジット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5121 URL <https://www.fujikuracomposites.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 植松 克夫 (TEL) 03-3527-8111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,204	△2.0	800	7.7	724	△15.6	413	△39.2
2019年3月期第2四半期	16,546	△1.0	743	△46.3	859	△41.0	680	△37.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 245百万円(△23.3%) 2019年3月期第2四半期 320百万円(△63.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.67	—
2019年3月期第2四半期	29.10	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	36,049	24,259	67.2
2019年3月期	35,581	24,178	68.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 24,259百万円 2019年3月期 24,178百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	7.00			
2020年3月期(予想)			—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,600	△2.5	1,000	8.9	900	7.3	500	△13.9	21.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	23,446,209株	2019年3月期	23,446,209株
2020年3月期2Q	49,445株	2019年3月期	49,354株
2020年3月期2Q	23,396,824株	2019年3月期2Q	23,396,859株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や消費税増税前の駆け込みにより個人消費が増加したため一時的には回復したかに見えましたが、米中貿易摩擦や英国のEU離脱交渉が未だに先が見えないこと等により景気は減速傾向となり、先行きは不透明感が増しております。

このような状況の中、当社グループでは、2019年5月29日に小型でパーソナルユースに利用できる非常用モバイル充電器『アクアチャージ』を発売するなど積極的な市場開拓に努め、当第2四半期連結累計期間の売上高は162億4百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は8億円（前年同期比7.7%増）、経常利益は7億2千4百万円（前年同期比15.6%減）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失に特別調査費用等として2億3千1百万円を計上したため4億1千3百万円（前年同期比39.2%減）となりました。詳細につきましては、本日開示いたしました「特別損失の計上、第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は、2019年4月1日に「藤倉コンポジット株式会社（英文：FUJIKURA COMPOSITES Inc.）」に商号変更いたしました。創業者である藤倉の名前を引き継ぎ、また、コンポジット（複合化）技術を生かしたゴムだけにとらわれない新しい製品分野に積極的に進出していくことを、この社名にこめて邁進してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <産業用資材>

工業用品部門は、世界的な自動車販売台数の減少により自動車関連部品が減収となりましたが、コストダウンに努めた結果、わずかながら増益となりました。制御機器部門は、引き続き半導体関連メーカーの減速、産業機械関連にも影響が出はじめ減収減益となりました。電気材料部門は、インフラ工事用部材が堅調さを維持し、非常用マグネシウム空気電池『WattSatt』、『アクアチャージ』の受注も順調に推移し、増収増益となりました。

この結果、売上高は103億1千2百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益は4億8千5百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

#### <引布加工品>

引布部門は、アジア諸国の景気減速による輸出低迷、半導体不振により、自動車関連製品、音響関連、高耐熱シートの需要が落ち込み減収減益となりました。印刷材料部門は、高付加価値製品が堅調に推移したものの、海外販社の受注減の影響を受け減収減益となりました。加工品部門は、国内において救命設備など舶用品が増収となりましたが、品種構成の変化により減益となりました。

この結果、売上高は25億9千1百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は6千4百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

#### <スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、大手ゴルフクラブメーカー向け製品の販売減速の影響を受け減収となりましたが、海外において今春発売の『VENTUS』、国内において今秋発売の『Speeder EVOLUTION VI』を中心に高く評価され、高価格帯商品中心にリシャフト市場での販売が好調に推移し、増益となりました。アウトドア用品部門は、主力の『キャラバンシューズ』『グラウンドキング』や『LEKIポール』が売上を確保し増収増益となりました。

この結果、売上高は31億4百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益は4億8千5百万円（前年同四半期比37.0%増）となりました。

#### <その他>

物流部門は、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1億9千6百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は4千3百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億6千7百万円増加の360億4千9百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億8千6百万円増加の117億8千9百万円となりました。純資産につきましては、242億5千9百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.0%から67.2%に低下いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「特別損失の計上、第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,188,487	5,024,571
受取手形及び売掛金	10,310,592	9,695,354
商品及び製品	2,184,968	2,458,127
仕掛品	2,439,478	2,413,292
原材料及び貯蔵品	842,666	796,013
その他	691,494	843,378
貸倒引当金	△27,593	△28,644
流動資産合計	21,630,094	21,202,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,626,539	4,462,073
機械装置及び運搬具（純額）	2,864,218	3,027,207
土地	3,216,467	3,215,117
建設仮勘定	475,679	1,167,850
その他（純額）	588,792	990,379
有形固定資産合計	11,771,698	12,862,628
無形固定資産		
ソフトウェア	131,224	130,732
その他	195,294	162,276
無形固定資産合計	326,518	293,008
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,138,670	2,974,711
貸倒引当金	△1,285,310	△1,283,037
投資その他の資産合計	1,853,361	1,691,674
固定資産合計	13,951,577	14,847,310
資産合計	35,581,672	36,049,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,571,247	1,890,851
短期借入金	2,674,100	3,902,395
未払法人税等	24,806	143,320
賞与引当金	435,148	414,643
その他	1,792,398	2,107,498
流動負債合計	7,497,701	8,458,709
固定負債		
長期借入金	2,345,000	1,842,500
繰延税金負債	326,154	288,009
環境対策引当金	29,513	29,513
退職給付に係る負債	917,260	891,710
資産除去債務	149,949	147,611
その他	137,982	131,599
固定負債合計	3,905,860	3,330,943
負債合計	11,403,562	11,789,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	16,710,752	16,960,401
自己株式	△20,398	△20,438
株主資本合計	23,707,137	23,956,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,096	243,349
為替換算調整勘定	381,004	219,734
退職給付に係る調整累計額	△172,128	△160,079
その他の包括利益累計額合計	470,972	303,004
純資産合計	24,178,109	24,259,750
負債純資産合計	35,581,672	36,049,404

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	16,546,261	16,204,999
売上原価	12,451,398	12,145,727
売上総利益	4,094,863	4,059,272
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	265,524	246,382
給料及び手当	1,000,630	985,261
賞与引当金繰入額	103,492	107,158
退職給付費用	51,057	39,760
減価償却費	67,576	79,911
研究開発費	361,282	395,789
その他	1,502,265	1,404,557
販売費及び一般管理費合計	3,351,828	3,258,822
営業利益	743,034	800,450
営業外収益		
受取利息	4,852	3,330
受取配当金	38,291	27,770
為替差益	110,523	—
受取賃貸料	22,521	28,465
補助金収入	7,375	6,186
その他	35,971	45,724
営業外収益合計	219,537	111,477
営業外費用		
支払利息	11,479	6,524
為替差損	—	123,348
賃貸収入原価	6,824	4,787
貸倒引当金繰入額	34,264	12,994
その他	50,564	39,408
営業外費用合計	103,132	187,063
経常利益	859,439	724,864
特別利益		
補助金収入	—	1,173
特別利益合計	—	1,173
特別損失		
特別調査費用等	—	231,119
特別損失合計	—	231,119
税金等調整前四半期純利益	859,439	494,917
法人税、住民税及び事業税	169,946	119,104
法人税等調整額	8,713	△37,614
法人税等合計	178,659	81,490
四半期純利益	680,780	413,427
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	680,780	413,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,501	△18,747
為替換算調整勘定	△352,517	△161,269
退職給付に係る調整額	24,525	12,048
その他の包括利益合計	△360,493	△167,968
四半期包括利益	320,286	245,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320,286	245,458

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	10,736,460	2,506,776	3,114,415	188,609	16,546,261	—	16,546,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	57,081	57,081	△57,081	—
計	10,736,460	2,506,776	3,114,415	245,690	16,603,343	△57,081	16,546,261
セグメント利益	487,043	148,836	354,052	38,776	1,028,708	△285,673	743,034

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去220千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△285,894千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	10,312,544	2,591,667	3,104,292	196,495	16,204,999	—	16,204,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	56,189	56,189	△56,189	—
計	10,312,544	2,591,667	3,104,292	252,685	16,261,189	△56,189	16,204,999
セグメント利益	485,016	64,071	485,273	43,061	1,077,422	△276,971	800,450

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去193千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△277,165千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。